

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 妙徳

コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中森俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 庄瀬元洋

TEL 03-3759-1491

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日

平成25年8月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,016	△6.8	141	△29.2	157	△23.0	103	△18.1
24年12月期第2四半期	1,089	△24.9	200	△36.8	204	△36.3	126	△32.4

(注)包括利益 25年12月期第2四半期 131百万円 (6.9%) 24年12月期第2四半期 122百万円 (△36.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	13.64	13.64
24年12月期第2四半期	16.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,651	3,260	88.9
24年12月期	3,524	3,161	89.3

(参考)自己資本 25年12月期第2四半期 3,246百万円 24年12月期 3,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	4.00	—	3.50	7.50
25年12月期	—	3.50	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	4.50	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,181	2.9	346	△6.2	363	△4.4	231	26.6	30.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年12月期2Q	8,285,000 株	24年12月期	8,285,000 株
25年12月期2Q	707,953 株	24年12月期	625,160 株
25年12月期2Q	7,622,972 株	24年12月期2Q	7,711,079 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成25年8月28日(水)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策による円高の是正及び株価上昇が進み、また成長戦略への期待感から、景況感に改善の兆しが見られるようになりましたが、欧州における財政問題による需要の低迷、中国の景気減速等の影響もあり、実体経済においては目立った改善が見られない状況で推移いたしました。

当業界におきましては、円高の是正の影響から輸出関連業界、スマートフォン向け電子部品業界に業績の回復が見られ、当社グループの主要顧客業種である半導体製造装置業界においても、一部、設備投資需要に上向きの兆しが見られますが、パソコン、液晶テレビなどのデジタル電子・電気機器の低迷により、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、販売面では、日本を含むアジアを一つのマーケットとしてとらえ、情報の共有を図り、新興国市場のニーズに応えた製品シリーズの市場投入と販売体制を強化し拡販を推し進めてまいりました。

また、生産面では、「地産地消」の考え方にに基づき海外子会社での生産比率を高めること等によって、コストダウン及び供給力強化による顧客サービス向上に引き続き取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は1,016,144千円(前年同期比93.2%)、連結経常利益は157,517千円(前年同期比77.0%)、連結四半期純利益は103,970千円(前年同期比81.9%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

パソコン、液晶テレビなどのデジタル電子・電気機器の低迷、一部、国内生産への回帰は見られますが、各種製造業の海外生産移管などにより、売上高は751,612千円(前年同期比86.6%)となりました。営業利益については95,775千円(前年同期比58.6%)となりました。

② 韓国

昨年来のウォン高の影響による半導体関連業種に需要の低迷がありましたが、販売体制の強化と現地生産比率の向上及び円安の影響により、売上高は140,977千円(前年同期比119.5%)となりました。営業利益については21,754千円(前年同期比105.6%)となりました。

③ 中国

成長鈍化による景気減速懸念がありましたが、販売体制の強化及び円安の影響により、売上高は83,993千円(前年同期比125.3%)となりました。営業利益については22,847千円(前年同期比170.2%)となりました。

④ その他

タイ国を中心に、東南アジア市場への拡販活動を推し進めてまいりました。この結果、売上高は39,561千円(前年同期比106.9%)となりました。営業利益については1,238千円(前年同期比72.2%)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ55,353千円増加し、1,517,586千円となりました。これは主として、現金及び預金が123,237千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が37,255千円、製品が46,562千円減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ71,791千円増加し、2,134,245千円となりました。これは主として建物及び構築物が37,960千円、建設仮勘定の増加により有形固定資産その他が82,260千円増加したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ127,145千円増加し、3,651,832千円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ32,167千円増加し、250,338千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が16,834千円、未払法人税等が13,673千円、賞与引当金が13,020千円増加したのに対し、流動負債その他が17,252千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3,904千円減少し、141,279千円となりました。これは固定負債その他が1,170千円増加したのに対し、退職給付引当金が5,075千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ28,263千円増加し、391,618千円となりました。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ98,882千円増加し、3,260,214千円となりました。これは主として利益剰余金が89,949千円、為替換算調整勘定が21,955千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は88.9%となりました。

④ キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ129,279千円増加し、604,180千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益163,145千円に加え、減価償却費77,902千円、売上債権の減少額43,259千円、たな卸資産の減少額44,325千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額45,116千円等の減少要因により289,951千円の資金収入（前年同期比96.0%）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

定期預金の払戻による収入18,487千円、投資有価証券の売却による収入13,329千円等の増加要因に対し、有形固定資産の取得による支出130,614千円等の減少要因により136,354千円の資金支出（前年同期比170.1%）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

少数株主からの払込みによる収入12,789千円の増加要因に対し、自己株式の取得による支出20,142千円及び配当金の支払額27,047千円の減少要因により34,400千円の資金支出（前年同期比20.5%）となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前回予想（2013年2月14日）から修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	519,118	642,355
受取手形及び売掛金	558,091	520,836
製品	167,878	121,315
仕掛品	81,471	89,960
原材料	79,553	76,435
繰延税金資産	25,483	29,401
その他	31,040	37,563
貸倒引当金	△404	△282
流動資産合計	1,462,233	1,517,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,177,599	1,215,560
減価償却累計額	△468,005	△484,742
建物及び構築物（純額）	709,594	730,818
機械装置及び運搬具	723,566	726,550
減価償却累計額	△494,280	△519,470
機械装置及び運搬具（純額）	229,286	207,080
土地	735,434	734,908
その他	432,359	514,619
減価償却累計額	△383,552	△395,739
その他（純額）	48,806	118,880
有形固定資産合計	1,723,120	1,791,687
無形固定資産	132,506	116,525
投資その他の資産		
投資有価証券	137,516	151,101
繰延税金資産	12,970	8,113
その他	56,338	66,817
投資その他の資産合計	206,825	226,032
固定資産合計	2,062,453	2,134,245
資産合計	3,524,686	3,651,832

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,204	47,039
未払法人税等	44,195	57,868
賞与引当金	21,834	34,855
役員賞与引当金	—	5,892
その他	121,935	104,682
流動負債合計	218,170	250,338
固定負債		
退職給付引当金	118,055	112,980
その他	27,127	28,298
固定負債合計	145,183	141,279
負債合計	363,354	391,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	945,766	945,766
利益剰余金	1,590,369	1,680,319
自己株式	△131,019	△151,161
株主資本合計	3,153,241	3,223,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,679	19,153
為替換算調整勘定	△17,927	4,028
その他の包括利益累計額合計	△4,247	23,181
新株予約権	12,338	13,983
純資産合計	3,161,331	3,260,214
負債純資産合計	3,524,686	3,651,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,089,923	1,016,144
売上原価	494,917	481,857
売上総利益	595,006	534,286
販売費及び一般管理費	394,404	392,305
営業利益	200,601	141,981
営業外収益		
受取利息	186	1,851
受取配当金	2,118	2,580
為替差益	1,500	10,973
受取地代家賃	2,871	2,521
受取保険金	22	—
その他	475	781
営業外収益合計	7,175	18,708
営業外費用		
支払利息	1,544	—
売上割引	102	106
機械設備等移設費	780	—
減価償却費	599	2,595
その他	145	469
営業外費用合計	3,171	3,171
経常利益	204,604	157,517
特別利益		
固定資産売却益	1,012	517
投資有価証券売却益	—	5,046
新株予約権戻入益	—	164
特別利益合計	1,012	5,728
特別損失		
固定資産売却損	6,023	—
固定資産除却損	128	—
投資有価証券売却損	—	100
特別損失合計	6,151	100
税金等調整前四半期純利益	199,465	163,145
法人税、住民税及び事業税	71,326	61,235
法人税等調整額	1,223	△2,060
法人税等合計	72,550	59,175
少数株主損益調整前四半期純利益	126,914	103,970
四半期純利益	126,914	103,970

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	126,914	103,970
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,252	5,473
為替換算調整勘定	2,226	21,955
その他の包括利益合計	△4,025	27,429
四半期包括利益	122,889	131,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,889	131,399
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	199,465	163,145
減価償却費	88,935	77,902
固定資産除却損	128	—
固定資産売却損益(△は益)	5,010	△517
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,945
貸倒引当金の増減額(△は減少)	246	△149
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,516	11,997
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14,315	5,856
退職給付引当金の増減額(△は減少)	572	△5,557
受取利息及び受取配当金	△2,304	△4,431
支払利息	1,544	—
売上債権の増減額(△は増加)	△10,238	43,259
仕入債務の増減額(△は減少)	20,387	13,497
たな卸資産の増減額(△は増加)	3,546	44,325
未払金の増減額(△は減少)	1,226	△10,393
その他	13,272	△3,353
小計	316,995	330,636
利息及び配当金の受取額	2,304	4,431
利息の支払額	△1,531	—
法人税等の支払額	△15,881	△45,116
営業活動によるキャッシュ・フロー	301,887	289,951
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△31,895	△20,952
定期預金の払戻による収入	—	18,487
投資有価証券の取得による支出	△8,285	△13,113
投資有価証券の売却による収入	—	13,329
有形固定資産の取得による支出	△40,192	△130,614
有形固定資産の除却による支出	—	△5,003
有形固定資産の売却による収入	1,399	3,090
無形固定資産の取得による支出	△1,168	△1,577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,142	△136,354
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△125,708	—
少数株主からの払込みによる収入	—	12,789
自己株式の取得による支出	△3,076	△20,142
配当金の支払額	△38,739	△27,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,523	△34,400
現金及び現金同等物に係る換算差額	415	10,082
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	54,637	129,279
現金及び現金同等物の期首残高	401,895	474,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	456,532	604,180

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	867,940	117,924	67,041	1,052,906	37,017	1,089,923
セグメント間の内部売上高 又は振替高	122,646	47,121	5,508	175,276	—	175,276
計	990,587	165,045	72,550	1,228,183	37,017	1,265,200
セグメント利益	163,320	20,601	13,424	197,347	1,714	199,062

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	197,347
「その他」の区分の利益	1,714
セグメント間取引消去	1,539
四半期連結損益計算書の営業利益	200,601

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	751,612	140,977	83,993	976,583	39,561	1,016,144
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,850	43,521	3,753	161,125	—	161,125
計	865,462	184,498	87,746	1,137,708	39,561	1,177,269
セグメント利益	95,775	21,754	22,847	140,377	1,238	141,616

(注) 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	140,377
「その他」の区分の利益	1,238
セグメント間取引消去	365
四半期連結損益計算書の営業利益	141,981

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

第1四半期連結累計期間より、従来「その他」に含まれていた「中国」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを開示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。